
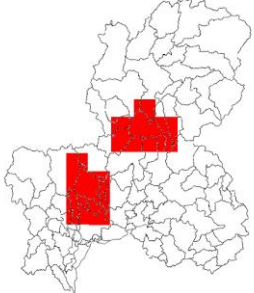


マルバサンキライ	<i>Smilax stans</i> Maxim.	絶滅危惧 I 類
		シオデ科
選定理由	生育地と個体数がともに極めて少ない。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	木本的な植物。サルトリイバラの仲間だがつるにはならず、高さは50 cm以下。巻きひげ状突起が出る葉と出ない葉がある。突起は葉鞘の両端から1対出て、長さ5mm以下の細い糸状のもので、他物に巻きつくことはない。葉身は卵形で、長さ3-6cm、幅2-3.5cm。花は淡緑黄色。	
生態的特徴	花期は5-6月。葉は秋に枯れ、偽托葉を残して落ちる。	
分布状況	日本に固有で、本州から九州まで分布する。岐阜県では飛騨地方の南部と美濃地方の中部に少し見られる。	
減少要因	開発や道路拡幅による生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項	花はあまり目立たないので、注意を要する。	
参考文献		

文責: 高橋弘